

株式会社エムウェーブ第19期事業報告書

自：平成27年4月1日

至：平成28年3月31日

1 事業の概要

(1) 事業の経過及びその成果

地域の発展と振興のため積極的な営業活動を展開するとともに、「エムウェーブ」及び「ビッグハット」を長野の貴重な財産として情報発信を行い、関係機関との有機的な連携をはじめ、良質なサービスの提供、施設利用の一層の促進、運営面での更なる効率化、合理化に努めてまいりました。

当期の経営成績につきましては、ゲネプロをはじめとするイベントの増加、スケート大会の増加などで、通期での売上高は、6億7,408万円と前期より3,467万円増加しました。

販売費及び一般管理に係る営業費用については、6億5,083万円となりました。これは、光熱水費は減少したものの、修繕費や減価償却費などの増加により、前期と比較して3,235万円増加いたしました。

なお、スケートの振興発展のため、引き続き「ながの夢応援基金」へ3,000万円を寄付しております。

最終的に、当期の営業外損益等を含めた税引前当期純利益は、前期と比較して315万円増の2,317万円となりました。

(2) 施設部門別実績

【エムウェーブ部門】

① 施設見学及び売店部門

「長野オリンピックミュージアム」は、平成27年9月24日のオリンピックミュージアム・ネットワーク（OMN）総会において、OMNへの加盟が承認されましたが、改装が第19期末近くであり、見学者は110人減の7,607人で増加には至っていません。

売店の売上はオリンピックライセンス商品販売が第18期をもって終了したこと等に伴い、537万円減の125万円となりました。

② 貸館部門

貸館営業につきましては、継続的にご利用いただいている顧客への営業も含め、ビッグハットと営業面での連携を図りつつ、コンサート、展示会など大規模イベント等の誘致・開催に努めました。ゲネプロが1件から3件に増加し、6,226万円増の1億4,681万円を計上することができました。入館者数は1万人増の約29万人となりました。

③ スケート部門

スケート大会につきましては、前期同様6回の大会を開催し、約29,000人の入場者数と2,628万円の売上となり、152万円の増加となりました。

スケート入場売上は5,650万円で、前期と比較して187万円の減少となりました。無料開放を7日間実施したスケート入場者数は、NTC利用者を含め86,617人で、前期と比較して277人増加しました。

エムウェーブのアイススケートの営業概要は、次のとおりです。

■ 営業期間

平成27年10月2日	全日本及び競技者合宿受入
10月4日	スピードリンクオープン（一般営業開始）
11月1日	ホッケーリンクオープン
11月5日	スケート教室受入開始
平成28年3月8日	営業終了

■ 製氷日程

スピードスケートリンク	平成27年9月14日	準備開始
	10月1日	製氷終了
アイスホッケーリンク	平成27年10月3日	準備開始
	10月31日	製氷終了

■ NTC（ナショナルトレーニングセンター）

アイスリンク専有時間	564.5時間
利用選手数	延べ17,986人
トレーニングルーム利用者数	延べ3,949人

■ 無料開放（7日間）

1	平成27年10月4日（日）	
2	11月15日（日）	
3	12月6日（日）	
4	平成28年1月10日（日）	
5	2月20日（土）	氷の彫刻展同時開催
6	2月21日（日）	〃
7	3月6日（日）	

■ 市内小学校スケート教室

教室開催日	36日間
参加学校数	延べ57校
参加者数	延べ 8,365人

■ 主な競技会・イベント

1	第22回全日本スピードスケート距離別選手権大会	平成27年10月23日（金）～25日（日）
2	第83回全日本スピードスケート選手権大会	平成27年12月22日（火）～23日（水）
3	第41回長野県ジュニアスピードスケート競技会・東北信大会	平成28年1月17日（日）
4	第36回全国中学校スケート大会	平成28年1月30日（土）～2月2日（火）
5	第16回氷の彫刻展	平成28年2月20日（土）～21日（日）
6	第14回エムウェーブスピードスケート競技会	平成28年2月12日（土）～13日（日）
7	第46回長野市スケート競技大会	平成28年3月5日（土）スピードスケート 6日（日）フィギュアスケート

④ その他

館内の広告看板営業収入につきましては、1件の契約終了に伴い、59万円減の521万円となりました。

広告につきましては、掲出可能なスペースに余地があることから、新年度には新たな掲出を予定しています。

【ビッグハット部門】

① 貸館部門

貸館営業につきましては、コンサート、家電機器の展示会や団体の大会等様々な分野でのイベントを積極的に誘致し事業を展開しました。キャンセルの発生もあり、売上は 9,932万円と前期と比較して 2,810万円の減少となりました。入館者数は前期とほぼ同じ約39万人でした。

② スケート部門

NHK杯フィギュアスケート大会及び全中のフィギュアスケート大会が開催され、スケート大会売上は 2,002万円、スケート入場売上は 351万円となり、合わせて前期より 682万円の増となりました。

ビッグハットのアイススケートの営業概要は、次のとおりです。

■ 営業期間

平成27年12月 5日	リンクオープン アイスホッケー・フィギュアスケート練習開始
平成28年 2月28日	リンク営業終了

■ 製氷日程

平成27年11月10日	準備開始
11月21日	製氷終了

■ 主なイベント及び競技会

1	NHK杯フィギュアスケート大会	平成27年11月27日（金）～29日（日）
2	第25回ジュニア親善アイスホッケー長野大会（小学校低学年）	平成28年 1月 9日（土）～10日（日）
3	第25回ジュニア親善アイスホッケー長野大会（小学校高学年）	平成28年 1月16日（土）～17日（日）
4	第36回全国中学校スケート大会（フィギュアスケート）	平成28年 1月31日（日）～2月 2日（火）
5	ジャパンアイススレッジホッケー・チャンピオンシップ	平成28年 2月 8日（月）～13日（土）
6	全日本シンクロ大会（フィギュアスケート）	平成28年 2月20日（土）～21日（日）
7	アイスホッケー・アジアリーグ	平成28年 2月25日（木）
8	第35回松澤記念アイスホッケー大会	平成28年 2月26日（金）～28日（日）

(3) 営業成績及び財産状況の推移

(単位：千円)

区 分	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期
売上高	93,020	503,205	477,700	427,268	411,745	342,744	360,336	368,690	226,660
当期損益 (税引後)	△9,014	△32,767	32,162	5,041	6,673	△279	8,568	6,572	18,438
1株当り 当期損益	円 △1,502.35	円 △5,461.1	円 5,360.47	円 840.22	円 1,112.14	円 △46.52	円 1,428.05	円 1,095.37	円 3,072.95
純資産	290,986	258,219	290,382	295,423	302,096	301,817	310,385	316,957	335,395
総資産	345,709	318,346	348,281	377,501	334,536	327,694	350,694	349,387	383,298

区 分	第10期	第11期	第12期	第13期	第14期	第15期	第16期	第17期	第18期
売上高	626,482	643,286	628,308	648,565	677,245	627,560	644,889	663,919	639,418
当期損益 (税引後)	36,142	18,123	14,059	16,599	19,293	12,519	2,578	5,978	12,185
1株当り 当期損益	円 6,023.69	円 3,020.33	円 2,703.64	円 3,192.09	円 3,710.20	円 2,407.55	円 495.91	円 1,149.65	円 2,343.43
純資産	371,537	389,660	363,719	380,318	399,611	412,130	414,709	420,686	432,872
総資産	450,954	464,166	430,645	473,967	470,712	483,716	488,594	507,272	505,043

区 分	第19期								
売上高	674,087								
当期損益 (税引後)	13,658								
1株当り 当期損益	円 2,626.62								
純資産	446,531								
総資産	539,002								

(注)

- 第1期は、当社設立が6月1日であり、9月30日までの4か月間であります。
- 第9期から事業年度を4月1日から翌年3月31日までと変更したため、第9期は6か月間であります。
- 1株当たり当期損益は、期末発行済株式の総数から算出しております。なお、発行済株式の総数については、自己株式を除いております。
- 第10期からビッグハット及び若里市民文化ホールの指定管理業務を行っております。

(4) 設備投資の状況

- ① エムウェーブの会議室に個別冷暖房設備を設置しました。
- ② 長野オリンピックミュージアムの照明をLED化しました。
- ③ 若里市民文化ホールの特別会議室B及び会議室の照明をLED化しました。

(5) 資金運用の状況

資産の有効な管理として、第7期から国債を購入してあります。当期中に1本につき償還を受けて普通預金に繰り入れ、現在、1億3,000万円分(2本)を保有しています。

(6) 会社に対処すべき継続的課題

- ① 長野オリンピックの貴重な遺産である「エムウェーブ」、「ビッグハット」を長野の財産として後世に引き継ぐとともに、長野の知名度、イメージアップ、地域振興のため、情報発信を積極的に行う。
- ② スケートをメジャーなスポーツに育て、長野をスケートの聖地とするため、スケート普及振興に対し、物心両面でのサポーターとなる。
- ③ 合理的、効率的な経営を行い、常に良質なサービスの提供と継続的な黒字経営に努める。

2 会社の現況

(1) 株式の状況

会社が発行する株式の総数	24,000株
発行済み株式の総数	6,000株 (内、自己株式 800株)
株主数	8名

株 主 名	当社への出資状況	
	持 株 数	出資比率 (%)
長野市	3,000	57.7
長野県	600	11.5
株式会社 前川製作所	800	15.4
鹿島建物総合管理 株式会社	500	9.6
株式会社 八十二銀行	160	3.1
長野信用金庫	80	1.5
長野県農業協同組合中央会	30	0.6
長野都市ガス株式会社	30	0.6

(注) 出資比率は、自己株式（800株）を控除して計算しています。

(2) 取締役及び監査役の氏名等（平成28年3月31日現在）

会社における地位	氏 名	担当または主な職業
代表取締役会長	加 藤 久 雄	長野市長
代表取締役社長	土 屋 龍一郎	株式会社エムウェーブ（常勤）
常務取締役	飯 森 康 正	株式会社エムウェーブ（常勤）
取締役	小 林 資 典	長野県教育委員会事務局教育次長
取締役	太 田 久二男	株式会社前川製作所取締役
取締役	浜 村 九二雄	株式会社八十二銀行常務取締役
取締役	樋 口 博	長野市副市長
取締役	久保田 高 文	長野市商工観光部長
監査役	青 木 敏 雄	長野信用金庫専務理事
監査役	春 日 十三男	長野県農業協同組合中央会専務理事

(注) 当該事業期中の取締役及び監査役の異動は、次のとおりです。

1 就任

平成27年6月24日開催の第18期定時株主総会におきまして、取締役に小林資典氏及び久保田高文氏が、監査役に青木敏雄氏が選任されました。

2 退任

平成27年12月22日付をもって、北口一利氏は取締役を辞任により退任いたしました。

(3) 従業員の状況（役員を除く。）

人 数		平均年齢	平均勤続年数
男 性	2名	45歳8月	5年11か月
女 性	5名		

(注) 上記のほか、長野市から1名、株式会社共立プランニングから1名、人材派遣会社から2名の派遣を受け運営いたしました。